

令和2年度 活動報告

安全部会

・令和2年度としては、新型コロナウイルスの感染等により、さまざまな活動の自粛等により活発な活動は出来なくなりましたが、今年度に新型コロナウイルスにより推進出来なかった下記の案件等を、令和3年度以降の懸案事項として促進します。

- ・1) 長尾台小学校への「車いすスロープ設置」要請の件。
- ・2) ふじが丘地区の緊急対策用の緊急道路（橋梁等）。
- ・3) 阪急電鉄「雲雀丘花屋敷駅」の宝塚方面の、高架橋の「嵩上げ」等の改修要請について。（・緊急車両等の通行支障対策。）
- ・4) 上記以外には、通学路等の点検等について。（バス通りの整備等）

以上

福祉部会

今年度はコロナの影響で、福祉部所属の団体が活動休止、活動費の活用を考え「寒中見舞い」絵手紙を作りました。イラストは古谷(こや)かおりさん、印刷はあいえるせんたー逆瀬へ依頼、障がい者と、施設の協働で完成！ケアハウス花屋敷、花屋敷栄光園へ2月初旬配布、「心がほっこり温まり、日々の元気に繋がればいいな」との想いを込めてお届けしました。

環境部会

2020年度活動を振り返って

9月までに4回の部会開催と「まちづくり計画」の一環として11/16に「スワッグづくり」、ほかに10/19,29に雲雀丘学園中2年生の環境学習支援を行いました。コロナの影響でしょうか、きずきの森を訪れる方が随分増えました。



▲きずきの森に新設された開水路

雲雀丘浪漫委員会

活動期間が残り約1年間となりました。景観形成建築物保全、旧安田邸利活用、地域交通システム、無電柱化等道路整備の課題について協議をしています。大きな課題ばかりですが、残りの限られた期間の中で、次に繋ぐことができるように取り組んでいます。

長尾台小学校区人権啓発推進委員会

今年度の活動は休止せず、少人数での参加を目指しました。DVD上映による市民集会では、世代の違う方々の貴重な意見交換の場となり身近な人権を、語り合いました。

小学校との共催「ほめ達！心のふれあう講演会」では、ほめることの難しさ、自分をほめることの大切さを学び、視点の転換で直ぐに実践できると好評でした。さあ、皆さんも使ってみよう！

「凄い」「さすが」「素晴らしい」「素敵」笑顔溢れる地域になりますように、これからも活動続けて参ります。

子ども福祉部会

短かった夏休みも終わり、8月26日にR2年度最初のたけのこクラブを開催したところ子ども達は静かに学習していました。無駄なおしゃべりはしないという約束がきちんと守られていました。アツという間に過ぎてしまった1年間、夏休み宿題ひろば、カレーランチが中止になり焼き芋大会もできませんでした、来年度に期待しましょう。

10月青少年センター三木健太郎所長、12月関西女子短大の飯島仁美さんに講演していただき学ぶことも多かったです。

地区防災計画委員会

本年度は参集しての委員会を開催することが出来ませんでした。また、新型コロナウイルス感染症が治った状況下ではありませんが、次年度は感染症対策を取りながら、自助・共助・近助活動を皆で考え取り組んでいきたいと思っています。

青少年補導委員

日頃は、青少年補導委員の活動にご理解ご協力ありがとうございます。青少年補導委員は、本年度は感染症予防のため一部中止になりましたが、通常、年間をとおして以下の活動をしています。私たちは、子供たちの心に気を配りながら、学校や周辺地域・教育センターと連携を取り、青少年の健全育成をめざして、安全・安心のお手伝いをさせていただいています。ここで使用する補導とは、暖かく声を掛けて見守るという意味になります。

- ①見守り活動、パトロール
市内一斉補導（毎月10日）、地域見守り活動など
- ②研修
一日研修（活動自粛）、県・阪神補導委員研修など
- ③学校・地域との連携
学校・地域連携会議、スクラム会議（活動自粛）など
- ④宝塚市青少年補導委員連絡協議会（補連協）の会議
定例総会（書面）、本部役員会、定例役員会など
withコロナで変化した、新しい時代の寄り添い方を検討していきたいと思っています。

文化交流部会

11月29日ふれあいコンサートを満願寺ふれあい会館で開催しました。参加者は21名でした。国際社会の道は生きて、音楽との時間を融合しています。音楽は、時代の地図を奏でて、メロディーのしおりが心の灯りとなって、人生を支えます。コンサートは、コミュニティ活動の大切な活性です。

